

2024 年度川崎市パラスポーツ指導者協議会 事業報告書

1 全体

- ① 当協議会の収入は日本パラスポーツ協会から会員数に応じて会費(1,100円/人)のみである。
- ② 主な支出は、会員の育成と活動のために協議会ニュースや大会等ボランティア意向アンケート等(以下「協議会ニュース等」という。)を会員に郵送する通信費である。しかし、収入だけでは足りないため繰越金を取り崩しながら事業を実施し、その結果毎年繰越金が減少している状況となった。
- ③ さらに、追い打ちをかけるように昨年10月から郵便料金が大幅に値上げされ、当協議会の財政がひっ迫する状況となった。
- ④ よって、今年2月の協議会ニュース等は原則希望者のみに郵送することにしたが、会員への広報活動、育成及び活動の促進の観点から、負の対応になる懸念が生じた。
- ⑤ 今後、会員の育成と活動の促進を図りつつ、財政計画の健全化を図る必要がある(収入の増加と支出の削減の検討)。

2 会員等の推移

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
会員数※	198名	215名	217名	217名	222名	12/31 時点名簿
初級養成講習 会修了者数	24名	19名	28名	21名	28名	原則翌年度会 員に追加

※12/31 現在の日本パラスポーツ協会に登録されたデータによる会員数で、その後会費支払い等により会員が増える傾向にある。

3 幹事会(役員会)の活動

開催日	主な議題
2024.04.11	総会内容検討
2024.05.23	指導者研修及び交流会検討
2024.07.25	協議会ニュース等発送作業
2024.10.17	指導者研修及び交流会検討
2024.11.28	協議会ニュース意向アンケート等発送作業
2024.12.19	指導者研修及び交流会検討
2025.01.27	協議会ニュース等検討
2025.02.27	協議会ニュース等発送作業

上記以外に総会や研修会を開催した。また、関東ブロックパラスポーツ指導者協議会の幹事会や日本パラスポーツ協会主催の合同会議等にも参加した。

4 広報活動

① 協議会ニュースの発行

- ・ 協議会ニュースを 2 回発行し、会員へ周知した。また、会員以外の障害者関係団体にも協議会ニュースを送付した。なお、第 45 号は、財政のため希望者のみに協議会ニュースを郵送した。

◆第 44 号(令和 6 年 7 月発行)

総会報告、研修報告、公認パラスポーツ指導者全国研修会のお知らせ、表彰制度及び表彰者決定、大会等活動報告、デフリンピックのお知らせ、全国障害者スポーツ大会開催のお知らせ、大会等ボランティア意向アンケート、自由意見、研修のお知らせ、ユニフォームの販売 他

◆第 45 号(令和 7 年 2 月発行)

総会のお知らせ、役員立候補のお知らせ、大会等ボランティア意向アンケートの回答方法のお知らせ、自由意見、研修報告、公認パラスポーツ指導者全国研修会報告 初級養成講習会報告、全国障害者スポーツ大会報告、大会等活動報告 他

- ### ② ホームページを随時更新して、会員が必要な情報等(大会等ボランティア意向アンケート等)を掲載し、会員の拡充を図った。

- ### ③ メールアドレスを登録されている会員に対し、日本パラスポーツ協会等からの情報を発信し、情報共有を図った。

5 会員の育成と活動の促進

(1)大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ① 大会等ボランティア意向アンケートを 7 月、11 月、2 月の年 3 回に実施し、タイムリーな情報発信と会員派遣先のマッチングを行った。なお、大会ボランティアに参加される会員は固定化され、若年層やスポーツ施設勤務の会員の参加者は少ない傾向にあった。なお、2 月は財政のため希望者のみに大会等ボランティア意向アンケートを郵送した結果、例年に比べて回答者が少なくなり、メール等で再回答を促した。
- ② 川崎市障害者スポーツ協会と協力して、大会等ボランティア意向アンケートの結果を共有し、会員へ連絡の徹底を行った。さらに大会実施要領を事前配布することで会員の事前学習につながった。
- ③ 表彰制度に基づき、パラスポーツの発展に貢献した会員を表彰した。

(2)他機関連携

- ① 会員拡充のため、川崎市の依頼により、9 月と 1 月の初級パラスポーツ指導者養成講習会に講師を派遣した。合計 28 名が受講された。
- ② 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施した(川崎ボッチャクラブ 他)。

(3)市内外における会員の派遣

- ① 各クラブ(陸上競技、卓球、ボッチャ、フライングディスク等)
- ② 全国障害者スポーツ大会(佐賀大会)及び強化練習
- ③ 川崎市視覚障害者福祉協会からの要請により STT 川崎大会
- ④ 日本ボッチャ協会や日本ユニバーサルボッチャ連盟からの要請によりボッチャ大会

6 研修会等の実施

① 指導者研修(ボッチャ)及び懇親会開催(6月)

ボッチャの審判及び実技を体験してパラスポーツ指導者の資質向上研修を井田体育館で実施した(参加者:21名(パラスポーツ指導者15名、一般参加6名))。

また、夕方から元住吉駅周辺の居酒屋にて、パラスポーツ指導者の親睦を深めるための懇親会を実施した(参加者12名)。

② 指導者研修(救命講習会ほか)及び懇親会開催(12月)

中部リハビリテーションセンター井田体育館で、講師に防災マインド・アンド・マネジメント様をお招きして救命講習会を開催した(参加者:14名(パラスポーツ指導者8名、一般参加6名))。講師は現役消防士と現役消防団で構成する団体で、現役ならではの生のお話をお聞きすることができた。

また、午後から同会場において、メーヴェ陸上クラブの選手(障害者)と一緒に実技を楽しみました(参加者は9名)。

その後、夕方から元住吉駅周辺の居酒屋にて、パラスポーツ指導者の親睦を深めるための懇親会を実施した(参加者は7名)。

③ 研修については毎年参加者が少ない状況となっているため、研修内容、開催時期等引続き検討が必要となった。

④ 公認パラスポーツ指導者全国研修会参加(12月開催)

日本パラスポーツ協会主催の全国研修会が二日間、東京都障害者スポーツセンターで開催され、当協議会からも実行委員や分科会に参加した。どの分科会も実技を中心とした講義でとても盛況だった。

END